

# 生徒質問紙の結果より

ご家庭においても、お子さんの頑張りを認め、これからご家庭でできることについてお子さんと話し合ってみてください。

# 加古川市の学力・学習状況 (中学校)

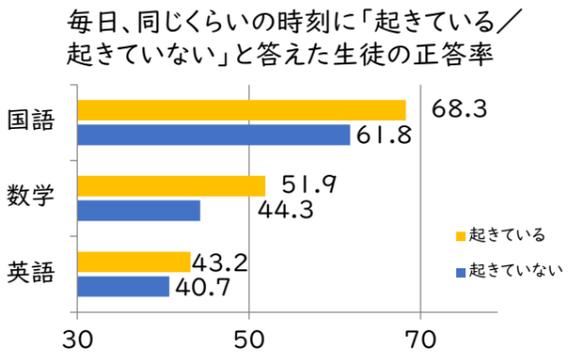
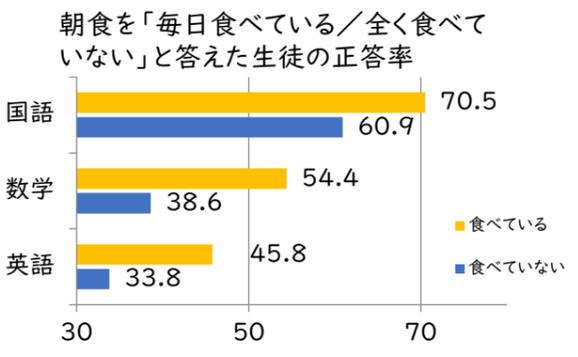
令和5年度全国学力・学習状況調査の結果より

令和5年10月18日  
総務教育常任委員会資料  
教育総務部学校教育課

## 生活のリズムを整える

「毎日、朝食を食べている」生徒や「毎日同じ時刻に起きている」生徒の方が、正答率が高い傾向がみられました。

- ☆毎日朝食をとり、元気に一日のスタートを切ることが大切です。
- ☆家庭での時間を有意義に使うためにも、睡眠や食事などの時間を決めておくことが大切です。



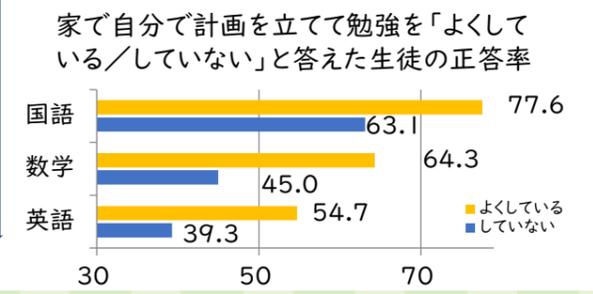
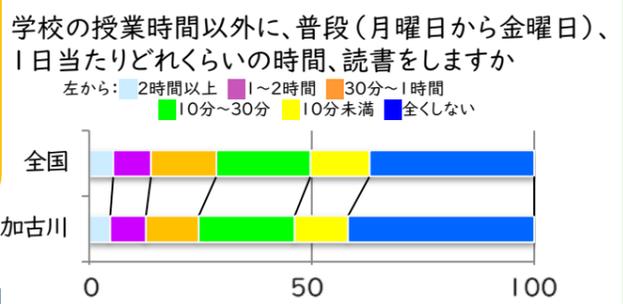
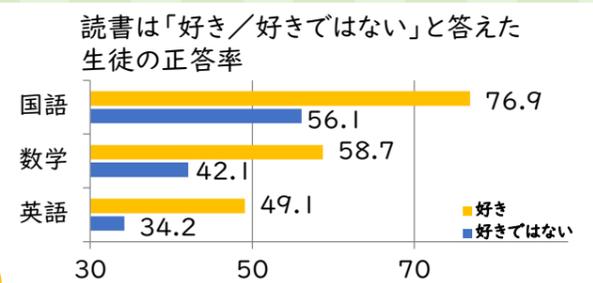
加古川市では、すべての市民が、良好な環境のもとで、いきいきと毎日を過ごすことを掲げています。小学5年生から配付しているかこがわウェルネス手帳も参考にしてみましょう。  
※加古川市のグーグルアカウントで見ることができます。



## 家庭学習の習慣を身に付ける

「読書は好き」と答えた生徒や「家で自分で計画を立てて勉強をよくしている」と答えた生徒の方が、正答率が高い傾向がみられました。

- ☆図書館を利用したり、親子で同じ本を読んで感想を伝え合ったりすることが大切です。ご家庭でも、読書に親しむ時間をつくり、読書の習慣をつくるのが大切です。
- ☆「教科書の問題を解く」や「学校で学んだことについて家族で話をする」など、毎日少しずつでも家庭学習の習慣を身に付けることが大切です。



加古川市では、「家庭学習の手引き」に示しているように、読書習慣など4つの習慣づくりが大切と考えています。その中の学習習慣について、自宅でも個々の課題に取り組めるデジタルドリル学習も導入しています。ぜひ家庭学習に活用してください。



令和5年4月、全国学力・学習状況調査が行われました。この調査は、生徒の学力・学習状況を分析し、成果と課題を把握し、授業改善を図ることを目的としています。この調査における加古川市の子どもたちの現状を分析し、結果をまとめました。

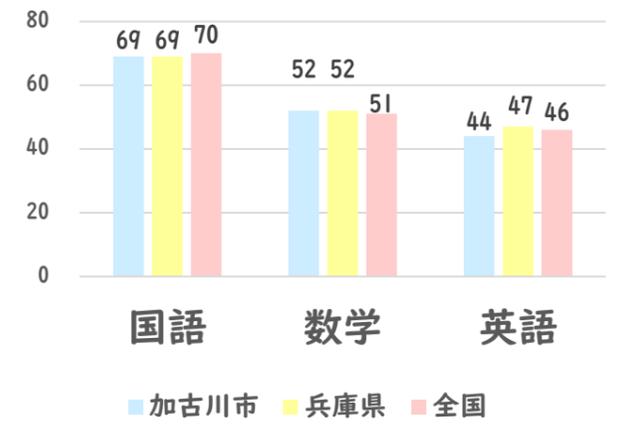
- 先生はあなたのよいところを認めてくれる **90.8%** (全国87.3%)
- 自分には、よいところがある **80.2%** (全国80.0%)
- 学校に行くのは楽しい **83.5%** (全国81.8%)
- 先生や学校にいる大人にいつでも相談できる **70.7%** (全国66.4%)
- 地域の行事に参加している **42.5%** (全国38.0%)

※生徒質問紙で肯定的に回答した割合の高かった設問より

## 教科に関する調査結果

- ・加古川市の結果を全国平均と比較すると同程度でした。
- ・基礎的な知識や技能は身につけています。
- ・全国と同様に記述式問題の無解答率が高く、思考力・判断力・表現力についても課題が見られます。

## 令和5年度平均正答率



加古川市教育委員会は「教育アクションプラン」を策定し、「未来を拓く学び推進事業」に取り組んでいます。

## 加古川市教育委員会

〒675-8501 加古川市加古川町北在家2000



←未来を拓く  
学び推進  
事業について



←全国学力・  
学習状況調  
査について  
(概要)

結果は、学力・学習状況の一側面を示すものではあるものの、資料の一つとして活用し、授業改善を図りながら、子どもたちのこれからの時代に求められる資質・能力の育成を図っていきたくと考えています。

# 社会の変化とともに、子どもたちに求められる学力／が変わってきています。

## 各教科の結果より

今年度、加古川市の子どもたちが苦手としている問題をまとめました。



### 国語

文章に書かれていることを、自分の経験と結びつけて考えてみよう

【書くこと】… 文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる課題

問題: 中山さんは、【A】や【B】の文章で述べられていることを参考にして、自分の本の読み方について考えた。あなたは、これからどのように本を読んでいきたいと考えるのか。次のア、イについて、それぞれの指示にしたがって書く。

ア 【A】か【B】、またはその両方の文章から、自分が着目したところを抜き出しなさい。

イ アを踏まえ、読書に関する経験や知識に触れながら、これからどのように本を読んでいきたいかを具体的に書きなさい。

(○正答例)

【A】同じ本でもいつも読むたびに新しい発見があります。

私は、今まで再読をした経験がなかったけれど、「新しい発見」を経験してみたいので、以前に読んだ本をもう一度読んでみたいと思います。

(△誤答例)

【A】今の自分が前に読んだ時とは違うと感じられるというのも読書の楽しみの一つだと思います。

これからは本を再度読んで、最初と違うものを感じていきたい。

誤答には、文章から自分が着目したことを抜き出してこれからどのように本を読んでいきたいかについて書くことはできていたが、自分の経験や知識と結びつけて考えることができていないものが見られました。

文章を読んで理解したこと、自分の考えや経験とを比較したり関連づけたりしながら、解決策や改善策を考えることが大切です。また、自分で本を読むときにも作者の言いたいことなどを想像しながら、自分の生活経験とつなげて考えてみることも大切です。



### 数学

日常生活や社会の事象に関する問題について、自分の言葉で考えを説明しよう

【関数】… 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる課題

問題: グラフや式を用いて、新緑大学の選手が晴天大学の選手に追いつくのが、6区のスタート地点からおよそ何mの地点になるのかを求める方法を説明する。

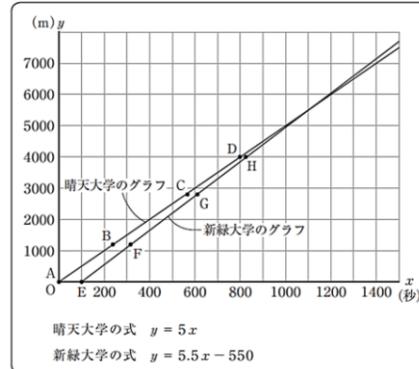
(○正答例)

晴天大学のグラフと新緑大学のグラフについて、2つの直線のグラフの交点からy座標を読み取り、スタート地点からおよそ何mの地点で追いつくのかを求めます。

(△誤答例)

晴天大学の式と新緑大学の式を連立方程式で解けばよい。  
※無解答も多く見られた。

コンピュータを使って表された直線のグラフと式



「なぜその解で求まるのか」や「y座標は何を表しているのか」などについて、問題解決の方法を説明することに課題が見られました。



表、式、グラフなどを用いながら自分の考えを説明することが大切です。また、グラフから考えたことと表や式などで考えたことがどうつながるかについて考えることも大切です。

## 「協同的探究学習」が育む子どもたちの「わかる学力」と「自己肯定感」

協同的探究学習とは、いろいろな考えが可能な問題に対して、一人ひとりの子どもが自分なりの考えを書き、クラスで考えをつなげて深める学習です。

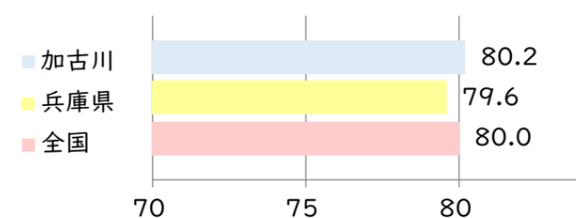
これからの時代には、自分で様々な知識を関連づけながら考え、他者と考えを共有し、ものごとの本質を理解していく「わかる学力」が重要になります。

協同的探究学習により一人ひとりの「わかる学力」や自己肯定感が育ちます。



加古川市学力向上推進委員会 顧問  
藤村 宣之 教授

「自分には、よいところがあると思う」と答えた生徒の割合 ※「ある」、「どちらかといえば、ある」と回答した割合のみ表記しています



友達や先生から自分の考えを認めてもらうことで、自分のよさに気づき、自己肯定感が高まります。

今回の調査では、自分には、よいところがあると感じている生徒の割合は8割を超えており、各生徒の考えを認める協同的探究学習などの取組の成果が表れてきています。

## 協同的探究学習の取組を進めることで

自分の考えを理由とともに書く力や、日常生活と結びつけて考える力が身につきます

あきらめずに自分なりの方法で解く力が身につく、無解答率が低くなります

違う意見について考える学習で楽しさを感じることができ、学力向上につながります

### 英語

書かれた内容に対して、自分はどうか考えるのか、なぜそう考えるのかなどについて、まず構想メモに書くようにしましょう

【書くこと】… 社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる課題

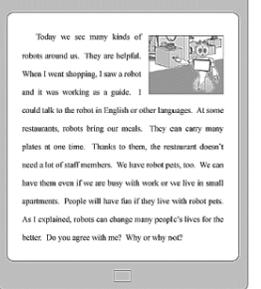
問題: 社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるようにする。

(○正答例)

・I agree with you. If robots do our housework, we will have more time.  
・I don't agree with you because people will lose their job.

(△誤答例)

・Yes, I do. I think robots is very nice.  
・No, I don't. I don't like robots.



誤答には、筆者の問いかけに対する自分の答えは書けているが、その理由に具体性が欠けていたり、自分の好みを理由としていたりするなど、理由を書くことに課題があるものが見られました。また、無解答も多く見られました。

筆者の問いに対して、自分はどうか考えているのか、なぜそのように考えるのかを日本語(母語)で構想メモに書くことから始めてみましょう。また考えを持てるよう新聞や本を読んで色々なことに関心を持つことも大切です。

今回は英語に関する調査が4年ぶりにありました。

【話すこと】… 疑問文の特徴を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けているかどうかをみる課題

問題: 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。

(スクリプト)

Look! Kangaroos! They are really famous in my country, Australia. I know a lot about them. Do you have any questions about kangaroos? Please ask me.

(○正答例)

What food do they eat?

(△誤答例)

・What food kangaroo eat?  
・What they do eat?

「話すこと」調査においては、正答率は全国と同様に低いものの、無解答率は全国平均と比べ低くなっており、ALT(外国語指導助手)との学習などによる取組の成果がでてきていると考えられます。

相手の話したことについて、質問したいことを自分で考えてメモに書くなどして、自分から先生やALTなどに質問することが大切です。

また、助動詞を正しく用いたり、正しい語順で表現したりすることで、自分の考えや表現したいことが相手によりわかりやすく伝わるようになります。



You did it!